



2008年3月期 決算説明会
2008年5月28日

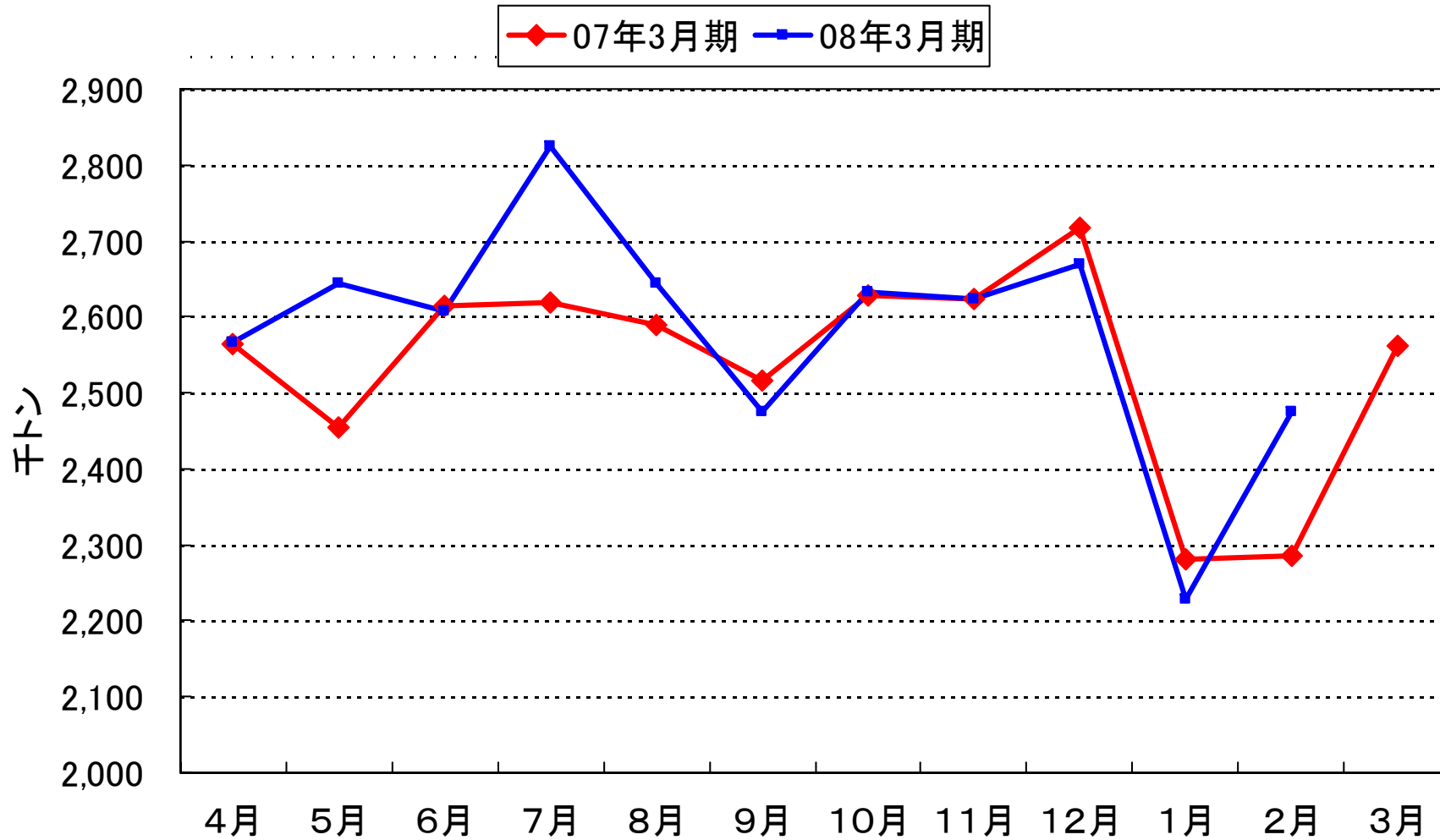
証券コード：9324 <http://www.yasuda-soko.co.jp/>

I. 2008年3月期 通期の実績

II. 2009年3月期 見通し

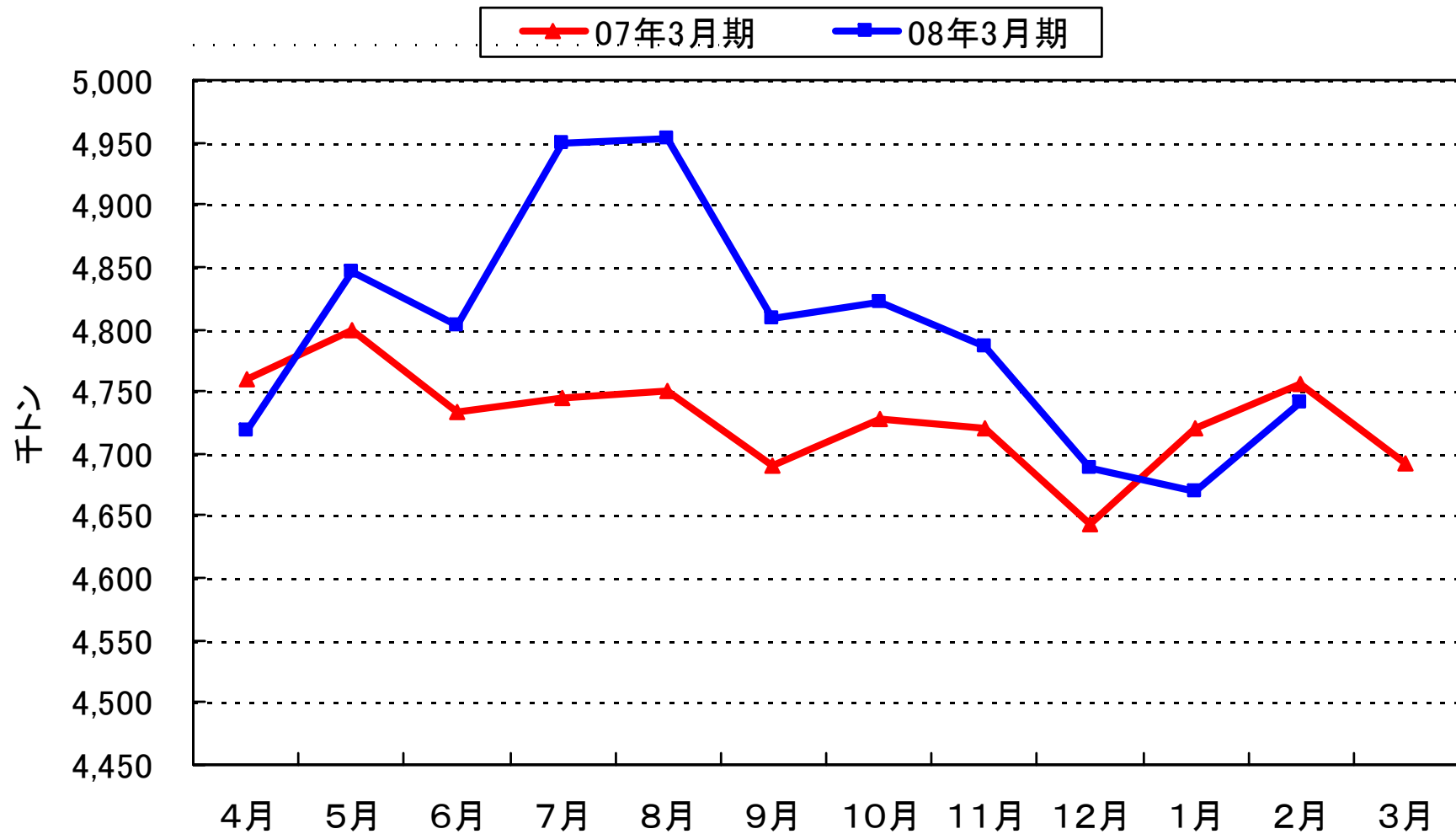
I . 2008年3月期 通期の実績

入庫高





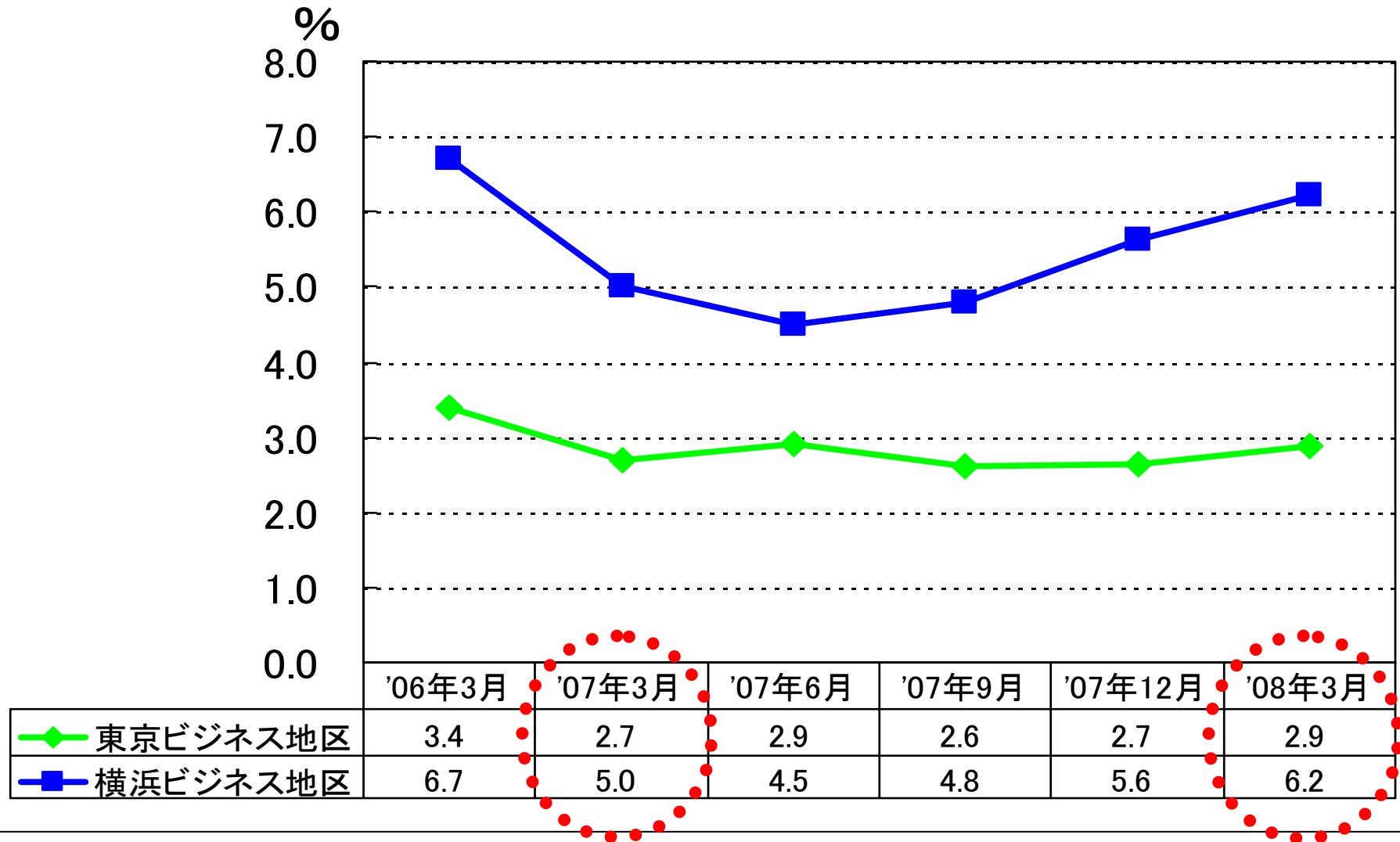
保管残高



空室率・募集賃料水準でみる不動産業界



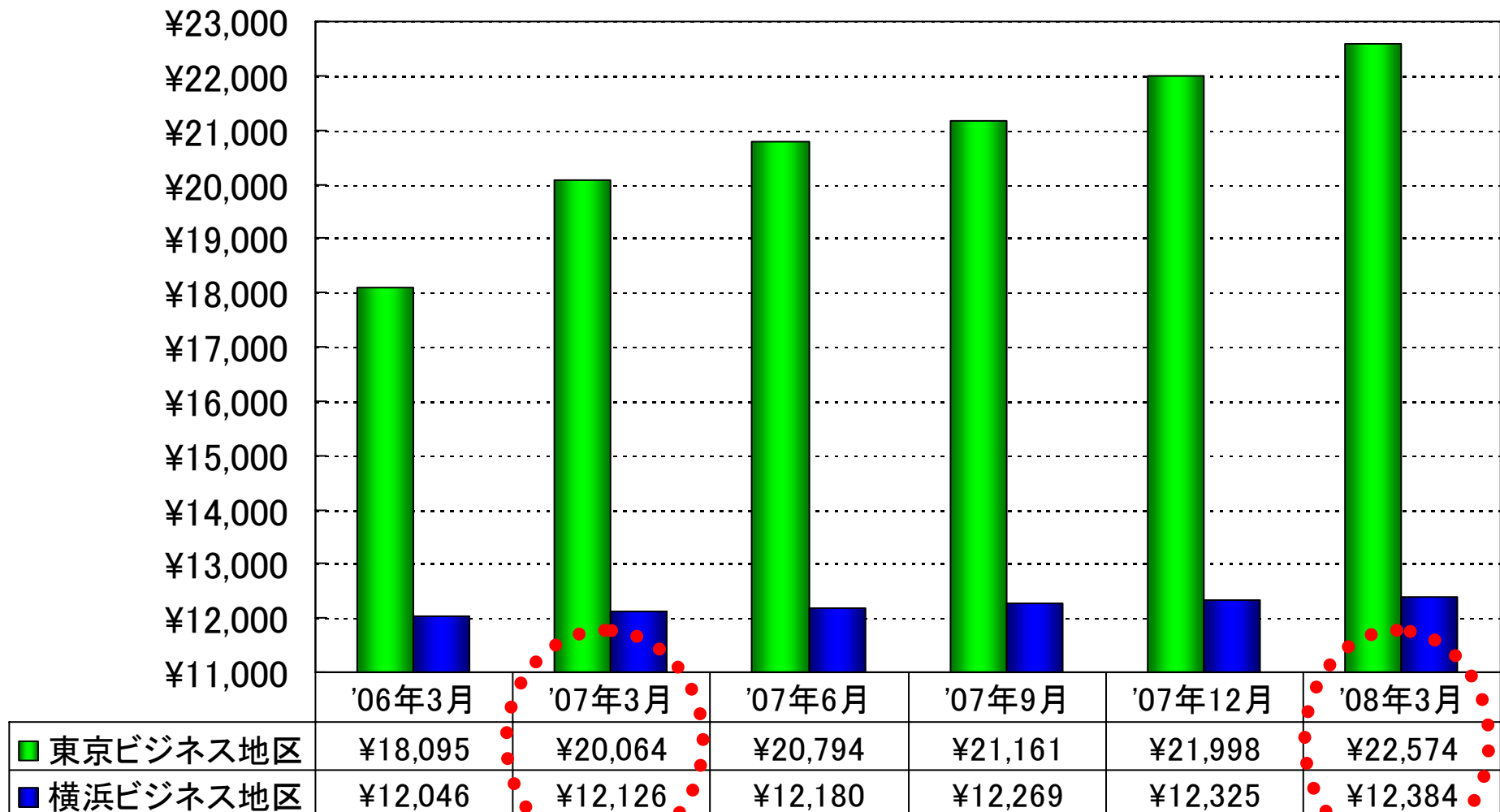
空室率



空室率・募集賃料水準でみる不動産業界



募集賃料相場(円/坪)



実績



単位: 百万円

	連 結		単 体	
	金額	前期比	金額	前期比
営 業 収 益	32,320	8.9%	26,408	7.0%
営 業 利 益	3,274	1.5%	2,155	0.6%
経 常 利 益	3,099	-0.4%	2,275	-0.9%
当 期 純 利 益	1,664	-3.4%	1,234	-10.7%

	連 結		単 体	
	当期	前期	当期	前期
売上高営業利益率	10.1%	10.9%	8.2%	8.7%
総資産経常利益率	4.5%	4.9%	3.8%	4.2%
1株当たり当期純利益	54円86銭	56円80銭	40円67銭	45円56銭
1株当たり純資産	982円71銭	1009円60銭	886円25銭	927円33銭

※減損対象となる固定資産はなし

新規物流拠点の取得（加須第二営業所、大阪営業所）



加須第二営業所(埼玉県加須市)

所管面積: 約14,200㎡

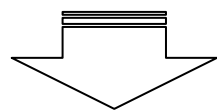
敷地面積: 23,688㎡



大阪営業所(大阪市住之江区)

所管面積: 約15,800㎡

敷地面積: 9,596㎡



両拠点とも昨年12月取得、改修工事を経て本年4月より稼働開始

新規取引の開始

腕時計等精密機器の倉庫・配送業務	(上期より)
顧客施設での物流管理業務	(上期より)
輸入家電の倉庫・配送業務	(下期より)
ベトナム発の国際輸送業務	(下期より)

新基幹情報システム「YOURS」稼働開始(4月)

グループ会社の拡大

日本ビジネス ロジスティクス(株)	; 本年1月子会社化
(略称JBL、旧・日本IBMロジスティクス)	
安田中倉国際貨運代理(上海)	; 昨年5月営業開始

各部門の概況

- 倉庫・配送 ; 守屋町D号ビル(2006年11月竣工)を含め各拠点とも安定稼働
- トランクルーム ; 文書保管箱数927千箱(前年同期比13.3%増)
- 輸配送 ; ATM輸送好調、医薬品輸送(2006年10月開始)通期寄与
- 引越 ; 全国一斉のオフィス移転受託(上期)、ターマンション幹事受託(下期)
- 国際輸送 ; 航空取扱順調、海上横這い



物流事業・業績推移



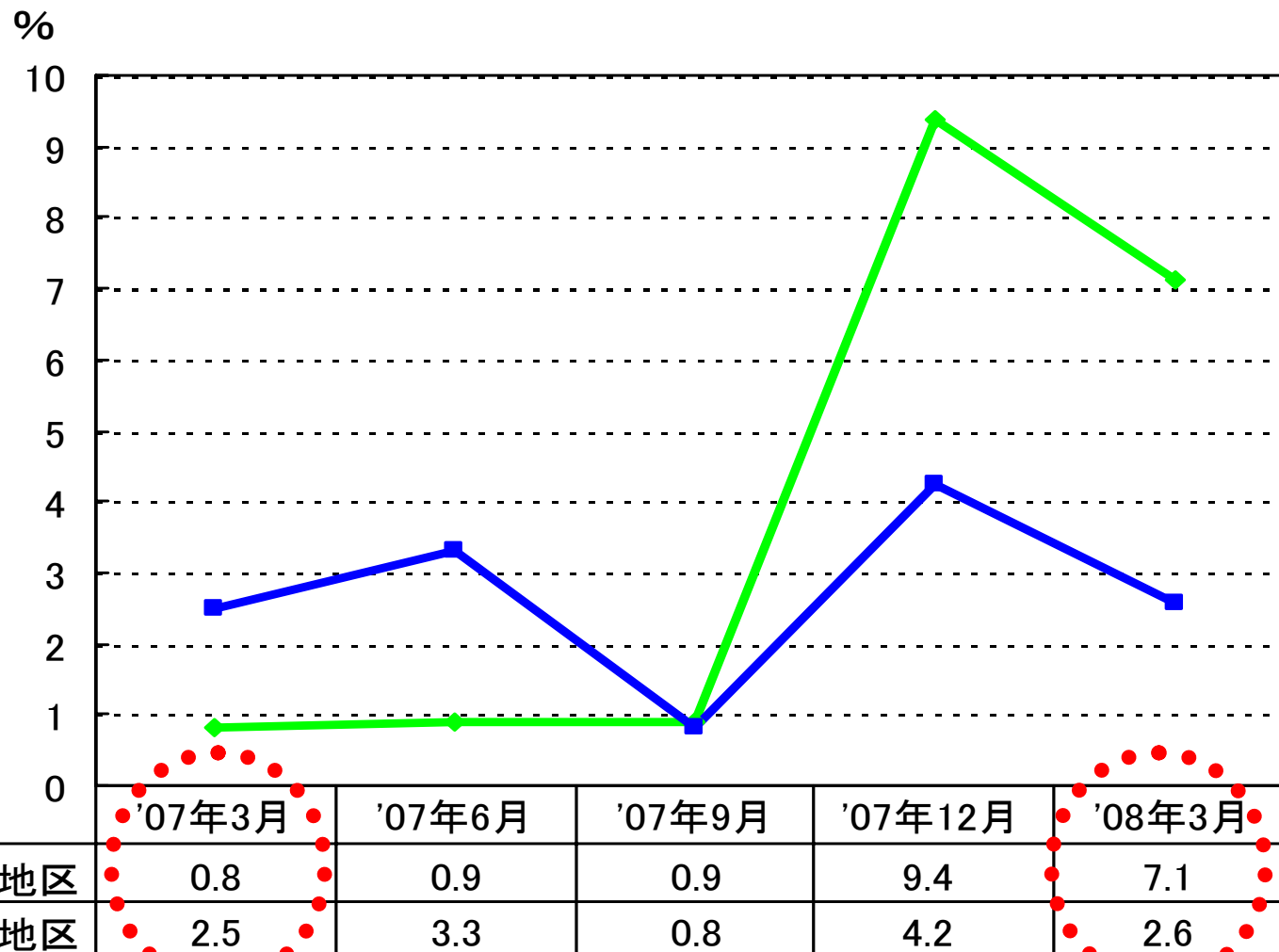
連結営業収益科目別対比

百万円

	前期	当期	前期比	
保管料	5,356	5,634	277	5.2%
倉庫作業料	4,538	4,949	411	9.1%
陸運料	7,421	8,178	756	10.2%
国際貨物取扱料	5,285	5,526	240	4.6%
物流賃貸料	1,609	1,718	109	6.8%
その他(物流)	230	729	499	216.9%
不動産賃貸料	4,526	4,636	109	2.4%
その他(不動産)	709	949	239	33.7%
合計	29,678	32,320	2,642	8.9%

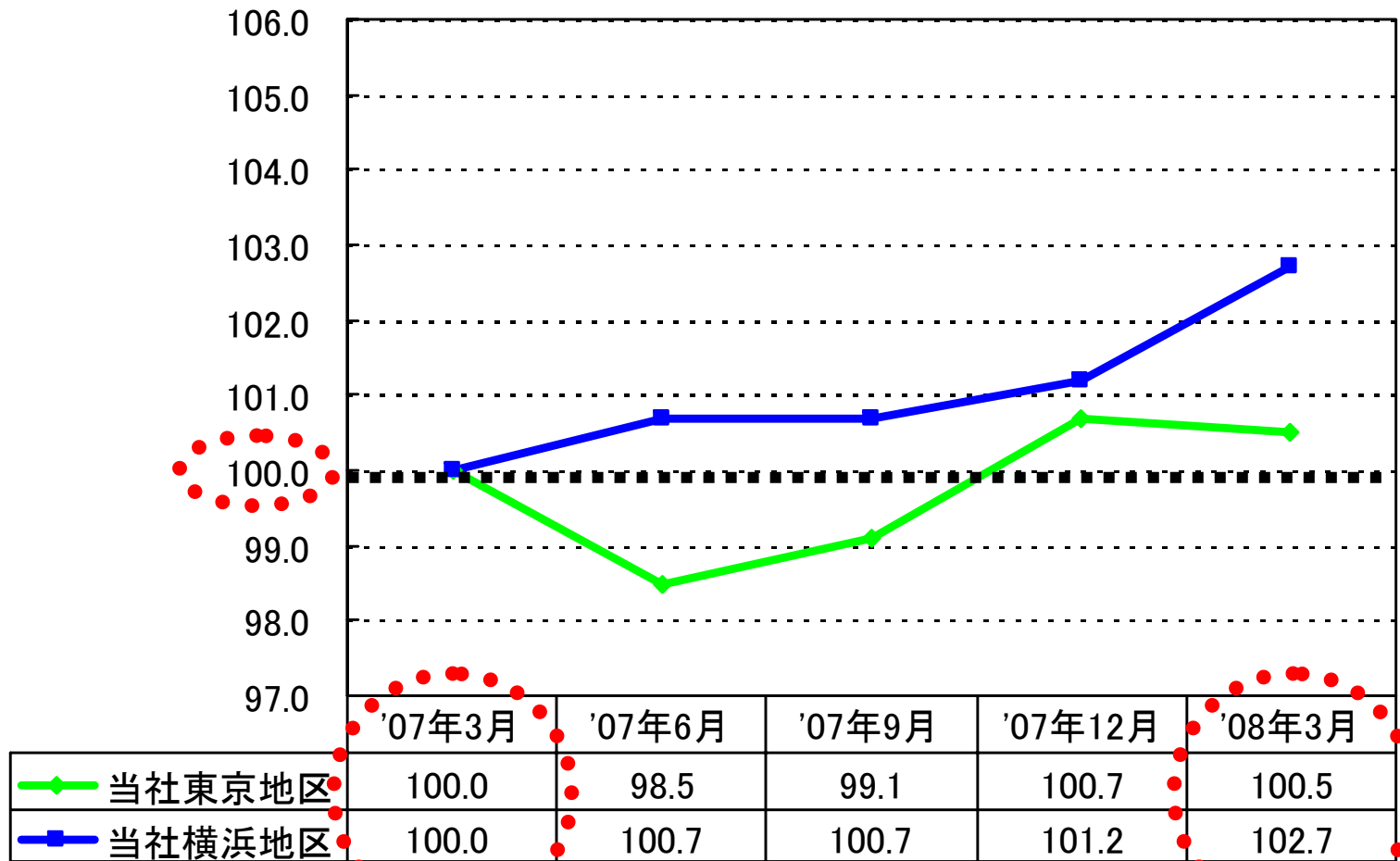
倉庫の安定稼働・陸運ビジネスの拡大

当社グループ不動産事業のオフィス空室率

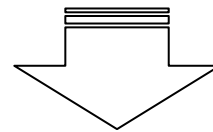




当社グループ不動産事業のオフィス平均賃料
(2007年3月を100とした場合)



北海道函館市内賃貸ホテル（ラビスタ函館ベイ）の竣工（3月）



本年4月より収益寄与、当社は賃貸料を収受

不動産事業・業績推移



連結営業収益科目別対比

百万円

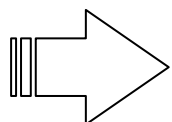
	前期	当期	前期比	
保管料	5,356	5,634	277	5.2%
倉庫作業料	4,538	4,949	411	9.1%
陸運料	7,421	8,178	756	10.2%
国際貨物取扱料	5,285	5,526	240	4.6%
物流賃貸料	1,609	1,718	109	6.8%
その他(物流)	230	729	499	216.9%
不動産賃貸料	4,526	4,636	109	2.4%
その他(不動産)	709	949	239	33.7%
合計	29,678	32,320	2,642	8.9%

セグメント別実績



百万円

		実績	前期比	
			額	比率
物流事業	営業収益	26,745	2,292	9.4%
	営業利益	2,978	178	6.4%
不動産事業	営業収益	5,969	335	5.9%
	営業利益	2,276	89	4.1%



各セグメントでの営業利益は一定の増加率を確保

- ◆ 販管費の償却増 (YOURS II 稼働) が P/L 上の営業利益に影響
- ◆ 支払利息の増加が経常利益を押し下げ
- ◆ 有価証券評価損の発生が当期純利益を押し下げ

設備投資・借入金



	百万円		
	前期	当期	前年同期比
設備投資額	4,846	11,993	7,147
主な投資案件		<ul style="list-style-type: none"> ・函館ホテル建設 ・加須第二営業所取得 ・大阪営業所取得 ・横浜駅西口地区物件取得 	
期末借入金残高	20,598	28,892	8,294

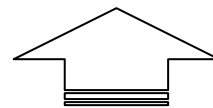
Ⅱ. 2009年3月期 見通し

重点課題

新規 3 拠点のフル稼働

加須第二営業所、大阪営業所 (4月より)

新山下倉庫 (12月より)



YOURS II、物流システム開発、JBLコンサル機能を絡めた提案力

重点課題



ベトナム拠点、中国現地法人の最大活用

ベトナム受託業務の円滑な立ち上げ、三国間への取り組み

ハノイ駐在員事務所の現地法人化推進

中国現地法人の天津支店（今夏開設予定）によるセールス

基本の徹底

I S O活動（品質・環境・情報セキュリティ）の充実

5 S活動（整理／整頓／清掃／清潔／躰）の継続実施

J-SOX（財務報告に係る内部統制報告制度）への的確な対応

効率経営の推進 = 最小の費用・投資で最大の効果を

業績予想の前提

物流事業

JBL子会社化に伴い通期で連結業績に反映

倉庫所管面積は新規 3 拠点で約47千m²増加

輸配送・引越の成長維持、国際輸送のステップアップ見込む

不動産事業

函館賃貸ホテルが4月より収益寄与（12箇月）

その他では大きな変動なし、空室率改善見込む

一時費用発生

新規不動産取得に係わる租税（不動産取得税）発生（上期想定）

外資系精密機器メーカーとの取引開始に係わる対応費用発生（上期）

Ⅱ. 2009年3月期 見通し
業績予想(通期)



百万円

	08/03期	09/03期	08/03期比	
	実績	業績予想	額	比率
営業収益	32,320	36,000	3,679	11.4%
営業利益	3,274	3,100	-174	-5.3%
経常利益	3,099	2,800	-299	-9.7%
当期純利益	1,664	1,600	-64	-3.9%

- ◆ JBL連結、新規拠点、陸運・国際拡大、等で売上増
- ◆ 新規拠点に伴う減価償却費の増加、租税の増加
- ◆ 支払利息の増加

業績予想(上期／下期)

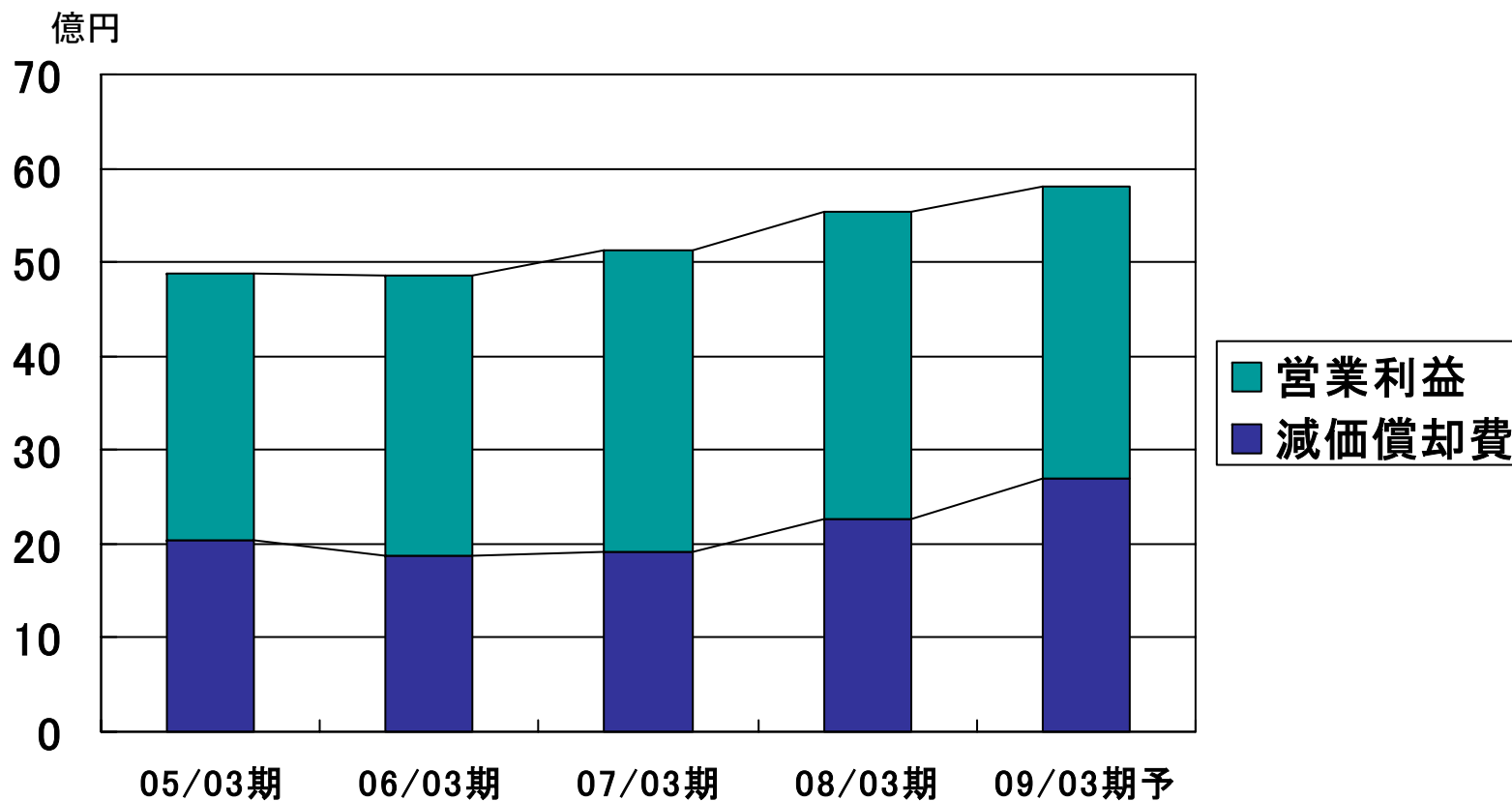


	上期(1Q・2Q)		下期(3Q・4Q)		百万円
	業績予想	前年同期比	業績予想	前年同期比	通期 業績予想
営業収益	17,600	1,870	18,400	1,810	36,000
営業利益	1,300	-435	1,800	262	3,100
経常利益	1,100	-560	1,700	262	2,800
当期純利益	600	-335	1,000	271	1,600

◆一時費用発生、新規拠点の立ち上がり期間 → 上期利益を圧迫

◆一時費用の減、新規拠点安定稼働 → 下期利益の拡大

営業利益+減価償却費の推移

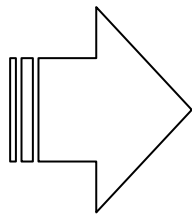


2010年3月期について

新拠点への投資は中期経営計画「プラン3C」の想定内、時期前倒し

= 当初目標業績は十分到達可能

JBL子会社化は中期経営計画「プラン3C」の当初数値目標に未算入



「プラン3C」業績目標一部修正

(2010年3月期)

営業収益; 380億円(+30億円)

営業利益; 37億円(変更せず)

経常利益; 34億円(変更せず)

< 配当方針 >

安定配当を基本としつつ、利益水準等を勘案して決定

2007年 3 月期は前期比2円増配 (連結配当性向24.6%)

2008年 3 月期は配当水準維持予定 (同25.5%)

2009年 3 月期も配当水準維持予定 (同26.6%)

年間配当14円予定

(中間配当 : 7円、 期末配当 : 7円)

事業環境の不透明感 …… 景気の先行き懸念、海外経済の動向、原油高

- ◇カスタムメイドの提案力
- ◇PDCAサイクルを基礎にした業務品質の維持向上
- ◇情報システム・物流システムの活用

新規拠点の収益貢献、国際ビジネスの拡大

「プラン3C」の目標到達、さらなる前進へ

YASDA



当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。